

第231回 春風狂句

9月号の笠は

「恥ずかしか」「私だって」です。

お一人三句以内で8月10日(金)までに
受付にお出してください。お待ちしております。



選者 国府 良貝

さすがだね 義理でフラ(ダンス)みて 魅せられた

令志 タエ子

(評釈) 昔からの友人にフラダンスの大会に出るけん見に来てと言われしよがなく見に行った。大したことはなかるうと思つたらどうしてどうして見事なもん。あーたもしてみらんねて言われて今度体験に行つてみるこになった。あん人がでくつとだけん負けとられんよね。

さすがだねえ 他人には負けん ワザのある 矢邊 義興

(評釈) 九〇歳過ぎた今も現役で車の誘導ばつづけとる警備員の方がテレビで紹介されとつた。動作は実にキビキビとして紅白の旗の振り方の切れの良さは運転手にとても分かりやすかつた。使つた旗は毎日自分で洗濯しビシツとさせとくらしか。さすがだね。

さすがだね 伊達に歳ば 取つとらん 島 藤子

(評釈) 町内でもめ事のあつた。初めは大した話じやなかと思つたら双方引かず放つとけん状態になった。長老に相談したところよかちよつと話ばしてみろとご出座。あつという間に納得の解決。以前よりいい関係になりめでたしめでたし。ばつてん大したもんばい。

さすがだね 綺麗にバラを 咲かせよる 吉岡 広子

(評釈) 垣根に沿つて毎年きれいなバラを咲かせ道行く人の目を楽ませていたAさん。残念なことに癌を患いよいよ末期という時期に庭の見える自分の部屋に戻つてこらした。ところがいつも道側に向かつて咲いとつたバラがなんと一斉にAさんの方ば向いて咲きほこつとつた。大切に育ててもらつたバラの「ご恩返し」だったのでと近所の評判になった。よか話ね。

夢だろか まあ〜だ死んじや おらんばな

松岡 茂美

(評釈) いわゆる一過性脳虚血発作というやつ。急に意識がのうなり声かけても反応のなかつたらしか。一時は脳出血なんか起こして危なかつた状態と思われとつたらしか。何もなかつたごつもともにとつたけんたまがつとらした。あたしやまだそが簡単にならんとよ。

夢だろか 世界遺産になる 田舎 鵜田 五典

(評釈) 小さか頃遊び回つたところが世界遺産になつたとテレビに出つた。きれいか教会のあつたとは覚えとるばつてん父親の仕事の関係で何年間かおつただけで詳しくは知らんかつた。あらためてよかとこだつたてわかつてたまがつた。今度いつペンいつてみる。

夢だろか 残つたクジが 当たつとる 杉野 裕志

(評釈) 久しぶりに着たジャケットの胸ポケットに宝くじの入つとつた。飲みに行つたとき衝動買いたつたは覚えとるけどそのまま放つたらかしたつた。まだ交換期限内だったので一応調べたらなんと百万円当たつとつた。ほんなごつあつた夢のごたる話。あーたもどつかに調べなん宝くじの残つとらんね。

たくさんの投稿をありがとうございます。

評釈は、勝手にイメージで書かせていただいておりますので、お気に召さない場合があるかもしれません。

お許しください。

